



## 2021年2月期 決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年4月6日

上場会社名 株式会社サンエー 上場取引所 東  
 コード番号 2659 URL <https://www.san-a.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 上地 哲誠  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 管理、コンプライアンス、リスク管理担当 (氏名) 豊田 沢 TEL 098(898)2230  
 定時株主総会開催予定日 2021年5月25日 配当支払開始予定日 2021年5月26日  
 有価証券報告書提出予定日 2021年5月26日  
 決算補足説明資料作成の有無： 有  
 決算説明会開催の有無： 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切り捨て)

### 1. 2021年2月期の連結業績（2020年3月1日～2021年2月28日）

#### (1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年2月期	202,767	1.7	9,149	△13.9	9,554	△17.7	6,074	△20.9
2020年2月期	199,292	5.0	10,622	△24.6	11,609	△19.5	7,683	△18.3

(注) 包括利益 2021年2月期 6,321百万円 (△23.5%) 2020年2月期 8,257百万円 (△16.6%)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益	自己資本当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2021年2月期	190.04	—	4.8	5.6	4.8
2020年2月期	240.38	—	6.4	7.3	5.7

(参考) 持分法投資損益 2021年2月期 一百万円 2020年2月期 一百万円

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年2月期	174,574	131,138	73.3	4,001.24
2020年2月期	168,555	126,912	73.3	3,864.88

(参考) 自己資本 2021年2月期 127,892百万円 2020年2月期 123,533百万円

#### (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2021年2月期	19,686	△6,428	△2,133	40,124
2020年2月期	21,434	△17,075	△2,042	28,999

### 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額(合計)	配当性向(連結)	純資産配当率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2020年2月期	—	0.00	—	53.00	53.00	1,694	22.0	1.4
2021年2月期	—	0.00	—	55.00	55.00	1,757	28.9	1.4
2022年2月期(予想)	—	0.00	—	55.00	55.00		24.3	

(注) 2021年2月期期末配当金の内訳 普通配当 53円00銭 記念配当 2円00銭

### 3. 2022年2月期の連結業績予想（2021年3月1日～2022年2月28日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	106,600	3.5	5,757	16.6	5,994	15.9	3,976	18.5	124.40
通期	208,022	2.6	10,474	14.5	10,850	13.6	7,227	19.0	226.12

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無  
 ② ①以外の会計方針の変更： 無  
 ③ 会計上の見積りの変更： 無  
 ④ 修正再表示： 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）  
 ② 期末自己株式数  
 ③ 期中平均株式数

2021年2月期	31,981,654株	2020年2月期	31,981,654株
2021年2月期	18,478株	2020年2月期	18,464株
2021年2月期	31,963,183株	2020年2月期	31,963,293株

(参考) 個別業績の概要

1. 2021年2月期の個別業績（2020年3月1日～2021年2月28日）

(1) 個別経営成績 (%表示は対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年2月期	195,398	2.5	8,015	△14.2	8,861	△14.3	5,984	△20.1
2020年2月期	190,713	4.7	9,347	△24.9	10,334	△21.7	7,486	△20.9

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2021年2月期	187.22	—
2020年2月期	234.21	—

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%		円 銭	
2021年2月期	169,302		127,470		75.3		3,988.05	
2020年2月期	163,405		123,224		75.4		3,855.20	

(参考) 自己資本 2021年2月期 127,470百万円 2020年2月期 123,224百万円

2. 2022年2月期の個別業績予想（2021年3月1日～2022年2月28日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	営業収益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	
第2四半期（累計）	102,453	3.1	5,078	1.1	3,559	1.1	111.38	
通期	199,909	2.3	9,096	2.7	6,376	6.6	199.51	

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 経営成績等の概況（1）当期の経営成績の概況②今後の見通し」をご覧ください。

(決算短信補足説明資料及び決算説明会内容の入手方法)

当社は、2021年4月19日（月）に機関投資家・アナリスト向けの電話会議を開催する予定です。この電話会議における説明内容については、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定であります。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当期の財政状態の概況 .....	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	3
3. 連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 連結貸借対照表 .....	4
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 .....	6
連結損益計算書 .....	6
連結包括利益計算書 .....	7
(3) 連結株主資本等変動計算書 .....	8
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書 .....	10
(5) 連結財務諸表に関する注記事項 .....	12
(継続企業の前提に関する注記) .....	12
(表示方法の変更) .....	12
(セグメント情報) .....	12
(1株当たり情報) .....	15
(重要な後発事象) .....	15
4. その他 .....	15

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当期の経営成績の概況

#### ① 当期の経営成績

当連結会計年度におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、個人消費及び企業収益の悪化など厳しい状況で推移いたしました。緊急事態宣言解除後は、段階的な経済活動の再開とともに景気回復の兆しも見られましたが、新型コロナウイルス感染症の再拡大が続いていることや、収束の見通しが立たないことから、景気の先行きは不透明な状況が続いております。

このような環境の中、当社グループにおきましては、政府による緊急事態宣言（4月16日～5月14日）や沖縄県緊急事態宣言（8月1日～9月5日、1月22日～2月28日）に伴い一部の店舗（テナント含む）の休業または営業時間短縮や、感染拡大防止策を講じながら、お客様と社員の感染防止に留意して営業してまいりました。

また、当社は経営方針を「気づく、考える、実行する」とし、人財力や仕組み力、商品力の向上に取り組むとともに、引き続き企業理念の浸透、七大基本の徹底、既存店の活性化、効率化を図り、お客様満足度の向上に努めてまいりました。

店舗展開につきましては、8月に「石川シティ」（沖縄県うるま市）を新規出店いたしました。

その結果、当連結会計年度における営業収益（売上高及び営業収入）は2,027億67百万円（前年同期比1.7%増）、営業利益は91億49百万円（同13.9%減）、経常利益は95億54百万円（同17.7%減）、親会社株主に帰属する当期純利益は60億74百万円（同20.9%減）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

#### 小売事業

小売におきましては、新型コロナウイルス感染症による外出自粛要請等の影響等はありませんでしたが、食料品の需要が拡大したこと、ワンランクアップ商品、沖縄県産品、PB商品（くらしモア、ローソンセレクト）の販売強化に取り組んだことや、昨年開店店舗並びに新規店舗の売上が寄与し、営業収益は1,956億66百万円（前年同期比2.4%増）となりましたが、新規出店経費の計上等により、セグメント利益は82億34百万円（同7.9%減）となりました。

コンビニエンスストア（以下「CVS」という。）

CVSは、FC店舗を8店舗新規出店、2店舗閉店、直営店を2店舗をFC店へ変更したことにより、営業収益は71億30百万円（前年同期比13.7%減）、セグメント利益は9億13百万円（同49.2%減）となりました。

#### ② 今後の見通し

今後の見通しにつきましては、海外経済の不確実性や、新型コロナウイルス感染症拡大の影響等により不透明な経営環境が続くと予想されます。

このような環境の中、当社は経営方針を引き続き「気づく、考える、実行する」とし、人財力や仕組み力、商品力の向上に取り組むとともに、企業理念の浸透、七大基本の徹底、既存店の活性化、効率化を図ることで、お客様満足度の向上に努めてまいります。

株式会社ローソン沖縄につきましては、地域食材を使った商品の共同開発、新商品の提案、売れ筋商品の情報交換を行い、商品力の強化を図ってまいります。

翌連結会計年度の業績見通しにつきましては、営業収益（売上高及び営業収入）は2,080億22百万円（前年同期比2.6%増）、営業利益は104億74百万円（同14.5%増）、経常利益は108億50百万円（同13.6%増）、親会社株主に帰属する当期純利益は72億27百万円（同19.0%増）を見込んでおります。

#### （新型コロナウイルス感染症に関するリスク情報）

新型コロナウイルス感染症の全世界における感染拡大の影響により、世界各国で入出国禁止等の渡航制限や外出制限などの措置が行われており、現時点では感染拡大の収束が見通せない状況にあります。2022年2月期の業績予想については、これまでの顕在化している業績への影響が2022年2月まで続くものと仮定したものであり、感染拡大の推移によって変動する可能性があります。

(2) 当期の財政状態の概況

資産、負債及び純資産の状況

当連結会計年度末の総資産は、前連結会計年度末と比較して60億19百万円増加し、1,745億74百万円となりました。なお、前連結会計年度末及び当連結会計年度末が金融機関の休日となり、仕入債務等の支払いがそれぞれ翌連結会計年度へ繰り越されております。（当連結会計年度 93億54百万円、前連結会計年度 90億45百万円）

主な要因は、現金及び預金が111億25百万円増加したことや、流動資産その他が31億63百万円、有形固定資産が21億99百万円減少したことによるものであります。

負債につきましては、前連結会計年度末と比較して17億94百万円増加し、434億36百万円となりました。

主な要因は、買掛金が3億72百万円、預り金が1億32百万円、流動負債その他が13億59百万円増加したことによるものであります。

純資産につきましては、前連結会計年度末と比較して42億25百万円増加し、1,311億38百万円となりました。

主な要因は、利益剰余金が43億80百万円増加したことによるものであります。

(3) キャッシュ・フローの概況

当連結会計年度の現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末より111億25百万円増加し、401億24百万円（前年同期比38.4%増）となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの主な要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動により得た資金は、196億86百万円（同8.2%減）となりました。

主な要因は、税金等調整前当期純利益91億50百万円、減価償却費79億9百万円の計上によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動に使用した資金は、64億28百万円（同62.4%減）となりました。

主な要因は、有形固定資産の取得による支出61億93百万円によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動に使用した資金は、21億33百万円（同4.4%増）となりました。

主な要因は、配当金の支払額16億92百万円及び非支配株主への配当金の支払額4億1百万円であります。

（参考）キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2019年2月期	2020年2月期	2021年2月期
自己資本比率 (%)	79.1	73.3	73.3
時価ベースの自己資本比率 (%)	95.6	74.2	75.9
キャッシュ・フロー対有利子負債比率 (%)	0.0	—	—
インタレスト・カバレッジ・レシオ (倍)	80,974.8	52,131.6	757.4

自己資本比率 : 自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率 : 株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率 : 有利子負債／キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ : キャッシュ・フロー／利払い

（注1）各指標は、いずれも連結ベースの財務数値により計算しております。

（注2）株式時価総額は、自己株式を除く発行済株式数をベースに計算しております。

（注3）キャッシュ・フローは、営業キャッシュ・フローを利用しております。

（注4）有利子負債は、連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っているすべての負債を対象としております。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、国際的な事業展開や資金調達を行なっておりませんので、日本基準に基づき連結財務諸表を作成しております。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年2月29日)	当連結会計年度 (2021年2月28日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	28,999	40,124
売掛金	4,757	5,046
商品及び製品	13,289	12,892
原材料及び貯蔵品	329	307
前払費用	523	567
その他	4,851	1,688
流動資産合計	52,751	60,626
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	61,653	63,117
機械装置及び運搬具（純額）	847	727
工具、器具及び備品（純額）	2,690	2,619
土地	34,962	35,015
リース資産（純額）	—	327
建設仮勘定	4,881	1,028
有形固定資産合計	105,035	102,836
無形固定資産		
借地権	423	410
ソフトウェア	361	313
その他	47	47
無形固定資産合計	833	771
投資その他の資産		
投資有価証券	547	489
関係会社株式	21	21
長期前払費用	305	267
繰延税金資産	3,736	4,445
差入保証金	4,791	4,619
建設協力金	531	497
その他	0	0
投資その他の資産合計	9,934	10,340
固定資産合計	115,803	113,948
資産合計	168,555	174,574

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2020年2月29日)	当連結会計年度 (2021年2月28日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	15,910	16,282
リース債務	—	12
未払金	7,363	6,969
未払費用	1,420	1,449
未払法人税等	1,918	1,999
預り金	3,925	4,057
賞与引当金	1,267	1,330
商品券等回収損失引当金	79	93
その他	2,884	4,243
流動負債合計	34,769	36,439
固定負債		
長期預り保証金	3,944	3,739
退職給付に係る負債	2,024	2,103
資産除去債務	542	559
リース債務	—	315
その他	361	279
固定負債合計	6,872	6,997
負債合計	41,642	43,436
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	3,723	3,723
資本剰余金	3,686	3,686
利益剰余金	116,039	120,419
自己株式	△27	△27
株主資本合計	123,420	127,801
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	157	113
退職給付に係る調整累計額	△44	△22
その他の包括利益累計額合計	113	91
非支配株主持分	3,378	3,245
純資産合計	126,912	131,138
負債純資産合計	168,555	174,574

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書  
(連結損益計算書)

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (自 2019年3月1日 至 2020年2月29日)	当連結会計年度 (自 2020年3月1日 至 2021年2月28日)
売上高	184,832	189,116
売上原価	126,426	130,402
売上総利益	58,406	58,714
営業収入		
不動産賃貸収入	6,126	6,238
加盟店からの収入	7,340	6,383
その他	991	1,028
営業収入合計	14,459	13,650
営業総利益	72,865	72,365
販売費及び一般管理費		
役員報酬	233	223
給料及び手当	5,512	5,733
賞与引当金繰入額	1,267	1,330
退職給付費用	387	402
雑給	14,009	14,134
地代家賃	4,881	4,878
減価償却費	7,017	7,909
のれん償却額	122	—
水道光熱費	4,529	3,940
その他	24,280	24,662
販売費及び一般管理費合計	62,243	63,215
営業利益	10,622	9,149
営業外収益		
受取利息	19	13
受取配当金	36	26
受取家賃	24	25
債務勘定整理益	139	155
協賛金収入	198	28
物品売却益	45	13
補助金収入	361	—
違約金収入	10	82
その他	221	161
営業外収益合計	1,056	506
営業外費用		
支払利息	0	25
商品券等回収損失引当金繰入額	43	50
消費税差額	5	7
その他	19	18
営業外費用合計	69	101
経常利益	11,609	9,554
特別損失		
固定資産除却損	8	172
減損損失	67	231
特別損失合計	75	403
税金等調整前当期純利益	11,533	9,150
法人税、住民税及び事業税	3,932	3,510
法人税等調整額	△711	△703
法人税等合計	3,220	2,806
当期純利益	8,312	6,343
非支配株主に帰属する当期純利益	629	269
親会社株主に帰属する当期純利益	7,683	6,074



（連結包括利益計算書）

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （自 2019年3月1日 至 2020年2月29日）	当連結会計年度 （自 2020年3月1日 至 2021年2月28日）
当期純利益	8,312	6,343
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△39	△43
退職給付に係る調整額	△15	21
その他の包括利益合計	△55	△21
包括利益	8,257	6,321
（内訳）		
親会社株主に係る包括利益	7,628	6,052
非支配株主に係る包括利益	629	269

（3）連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度（自 2019年3月1日 至 2020年2月29日）

（単位：百万円）

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	3,723	3,686	110,017	△26	117,400
当期変動額					
剰余金の配当	—	—	△1,662	—	△1,662
親会社株主に帰属する当期純利益	—	—	7,683	—	7,683
自己株式の取得	—	—	—	△0	△0
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	—	—	—	—	—
当期変動額合計	—	—	6,021	△0	6,020
当期末残高	3,723	3,686	116,039	△27	123,420

	その他の包括利益累計額			非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	196	△28	168	3,131	120,700
当期変動額					
剰余金の配当	—	—	—	—	△1,662
親会社株主に帰属する当期純利益	—	—	—	—	7,683
自己株式の取得	—	—	—	—	△0
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	△39	△15	△55	247	191
当期変動額合計	△39	△15	△55	247	6,212
当期末残高	157	△44	113	3,378	126,912

当連結会計年度（自 2020年3月1日 至 2021年2月28日）

（単位：百万円）

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	3,723	3,686	116,039	△27	123,420
当期変動額					
剰余金の配当	—	—	△1,694	—	△1,694
親会社株主に帰属する当期純利益	—	—	6,074	—	6,074
自己株式の取得	—	—	—	△0	△0
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	—	—	—	—	—
当期変動額合計	—	—	4,380	△0	4,380
当期末残高	3,723	3,686	120,419	△27	127,801

	その他の包括利益累計額			非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	157	△44	113	3,378	126,912
当期変動額					
剰余金の配当	—	—	—	—	△1,694
親会社株主に帰属する当期純利益	—	—	—	—	6,074
自己株式の取得	—	—	—	—	△0
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	△43	21	△21	△132	△154
当期変動額合計	△43	21	△21	△132	4,225
当期末残高	113	△22	91	3,245	131,138

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (自 2019年3月1日 至 2020年2月29日)	当連結会計年度 (自 2020年3月1日 至 2021年2月28日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前当期純利益	11,533	9,150
減価償却費	7,017	7,909
固定資産除却損	6	172
減損損失	67	231
のれん償却額	122	—
賞与引当金の増減額(△は減少)	79	62
商品券等回収損失引当金の増減額(△は減少)	9	14
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	171	105
受取利息及び受取配当金	△56	△40
支払利息	0	25
協賛金収入	△94	△28
売上債権の増減額(△は増加)	△1,409	△288
たな卸資産の増減額(△は増加)	△1,278	419
仕入債務の増減額(△は減少)	7,252	372
未払金の増減額(△は減少)	1,863	223
未払消費税等の増減額(△は減少)	△393	1,491
預り金の増減額(△は減少)	1,578	132
商品券の増減額(△は減少)	146	△152
長期預り保証金の増減額(△は減少)	1,591	△205
その他	△2,389	3,502
小計	25,819	23,097
法人税等の支払額	△4,384	△3,411
営業活動によるキャッシュ・フロー	21,434	19,686
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の売却による収入	40	—
有形固定資産の取得による支出	△16,687	△6,193
無形固定資産の取得による支出	△166	△103
長期前払費用の取得による支出	△66	△31
差入保証金の回収による収入	4	1
差入保証金の差入による支出	△238	△137
建設協力金の回収による収入	—	4
建設協力金の支払による支出	△8	—
利息及び配当金の受取額	46	30
投資活動によるキャッシュ・フロー	△17,075	△6,428

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (自 2019年3月1日 至 2020年2月29日)	当連結会計年度 (自 2020年3月1日 至 2021年2月28日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	300	100
短期借入金の返済による支出	△300	△100
リース債務の返済による支出	△0	△12
利息の支払額	△0	△25
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△1,659	△1,692
非支配株主への配当金の支払額	△382	△401
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,042	△2,133
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	2,316	11,125
現金及び現金同等物の期首残高	26,682	28,999
現金及び現金同等物の期末残高	28,999	40,124

（5）連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（表示方法の変更）

（連結損益計算書）

前連結会計年度において、「営業外収益」の「その他」に含めていた「違約金収入」は、営業外収益の100分の10を超えたため、当連結会計年度より独立掲記することとしました。この表示方法の変更を反映させるため、前連結会計年度の連結財務諸表の組替えを行っております。

この結果、前連結会計年度の連結損益計算書において、「営業外収益」の「その他」に表示していた231百万円は、「違約金収入」10百万円、「その他」221百万円として組み替えております。

（セグメント情報等）

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、事業の内容により事業セグメントを識別しており、「小売」と「CVS」の2つを報告セグメントとしております。

2. 報告セグメントごとの営業収益、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理方法は、連結財務諸表作成において採用している会計処理の方法と概ね同一であります。

報告セグメントの利益は、営業利益（のれん償却前）ベースの数値であります。

セグメント間の内部収益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

3. 報告セグメントの営業収益、利益又は損失、資産、その他の項目の金額に関する情報  
 前連結会計年度（自 2019年3月1日 至 2020年2月29日）

（単位：百万円）

	報告セグメント			調整額 (注) 1	連結財務諸表 計上額 (注) 2
	小売	CVS	計		
営業収益					
外部顧客への売上高	191,027	8,264	199,292	—	199,292
セグメント間の内部売上 高又は振替高	27	—	27	△27	—
計	191,055	8,264	199,319	△27	199,292
セグメント利益	8,945	1,798	10,743	△121	10,622
セグメント資産	164,016	7,653	171,670	△3,115	168,555
その他の項目					
減価償却費	6,604	412	7,017	—	7,017
有形固定資産及び無形固 定資産の増加額	17,723	558	18,281	—	18,281

(注) 1. 調整額は以下のとおりであります。

- (1) セグメント利益の調整額△121百万円は、のれんの償却額△122百万円及びセグメント間取引  
消去1百万円であります。
  - (2) セグメント資産の調整額△3,115百万円は、セグメント間取引の消去であります。
2. セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当連結会計年度（自 2020年3月1日 至 2021年2月28日）

（単位：百万円）

	報告セグメント			調整額 (注) 1	連結財務諸表 計上額 (注) 2
	小売	CVS	計		
営業収益					
外部顧客への売上高	195,636	7,130	202,767		202,767
セグメント間の内部売上 高又は振替高	29	—	29	△29	—
計	195,666	7,130	202,797	△29	202,767
セグメント利益	8,234	913	9,147	2	9,149
セグメント資産	170,593	7,100	177,693	△3,118	174,574
その他の項目					
減価償却費	7,504	405	7,909		7,909
有形固定資産及び無形固 定資産の増加額	5,023	482	5,506		5,506

(注) 1. 調整額は以下のとおりであります。

- (1) セグメント利益の調整額2百万円は、セグメント間取引消去2百万円であります。
  - (2) セグメント資産の調整額△3,118百万円は、セグメント間取引の消去であります。
2. セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

【関連情報】

前連結会計年度（自 2019年3月1日 至 2020年2月29日）

1. 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦以外の売上高がないため、該当事項はありません。

(2) 有形固定資産

本邦以外の有形固定資産がないため、該当事項はありません。

3. 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、連結損益計算書の売上高の10%以上を占めるものがないため、記載を省略しております。

当連結会計年度（自 2020年3月1日 至 2021年2月28日）

1. 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦以外の売上高がないため、該当事項はありません。

(2) 有形固定資産

本邦以外の有形固定資産がないため、該当事項はありません。

3. 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、連結損益計算書の売上高の10%以上を占めるものがないため、記載を省略しております。

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

前連結会計年度（自 2019年3月1日 至 2020年2月29日）

(単位：百万円)

	小売	CVS	全社・消去	連結財務諸表計上額
減損損失	38	28	—	67

当連結会計年度（自 2020年3月1日 至 2021年2月28日）

(単位：百万円)

	小売	CVS	全社・消去	連結財務諸表計上額
減損損失	121	109		231

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

前連結会計年度（自 2019年3月1日 至 2020年2月29日）

(単位：百万円)

	小売	CVS	全社・消去	連結財務諸表計上額
当期償却額	—	—	122	122
当期末残高	—	—	—	—



当連結会計年度（自 2020年3月1日 至 2021年2月28日）

（単位：百万円）

	小売	CVS	全社・消去	連結財務諸表計上額
当期償却額	—	—	—	—
当期末残高	—	—	—	—

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

該当事項はありません。

（1株当たり情報）

前連結会計年度 （自 2019年3月1日 至 2020年2月29日）		当連結会計年度 （自 2020年3月1日 至 2021年2月28日）	
1株当たり純資産額	3,864.88円	1株当たり純資産額	4,001.24円
1株当たり当期純利益金額	240.38円	1株当たり当期純利益金額	190.04円

- （注） 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。  
 2. 1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は以下のとおりであります。

	前連結会計年度 （自 2019年3月1日 至 2020年2月29日）	当連結会計年度 （自 2020年3月1日 至 2021年2月28日）
親会社株主に帰属する当期純利益 （百万円）	7,683	6,074
普通株主に帰属しない金額（百万円）	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期 純利益（百万円）	7,683	6,074
期中平均株式数（千株）	31,963	31,963

（重要な後発事象）

該当事項はありません。

4. その他

（役員の変動）

役員の変動につきましては、2021年4月6日発表の「役員の変動に関するお知らせ」をご参照ください。